

公益社団法人 私立大学情報教育協会  
サイバーキャンパスコンソーシアム  
平成 26 年度 第 1 回生物学グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時 平成 26 年 4 月 5 日 (土) 10:00~12:00  
場 所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 伊藤委員、須田委員、佐野委員 (事務局 井端、森下、平田)

### III. 検討事項

前年度の委員会において、生物学教育の課題は、生物学の視点からそれを取り巻く環境問題について考えさせるアクティブ・ラーニングの実現であることを確認した。また、実現のためには、他分野の教員との連携や大学間連携による授業の仕組みが欠かせないことも確認した。

そこで、今回の委員会では、アクティブ・ラーニング実現に向けた意見交換を行うための対話集会について具体的に検討した。

#### 1. 対話集会の方針について

事務局より、対話集会の方針について以下の通り説明し、意見交換を行った。

- ① 対話集会は単なる交流だけでなく、意見交換を通じて確認した課題を公表し、さらに研究を深めていくことを計画している。
- ② 参加者には事前に、本協会にてビデオ配信している中央教育審議会会長の安西祐一郎氏の講演内容(学生の能力を引き出す取り組み、企業と連携した PBL)を見ていただき、アクティブ・ラーニングの教授法、学習法について共通理解を得ておく。
- ③ 事例紹介は、様々な取り組みの中で紹介できるものを実施することにしているが、生物学では、実験型、フィールドワークは委員会メンバーで状況を教えてほしい。  
また、生物学以外の分野でも共通で参考となるものがあれば紹介してもよいと思われる。
- ④ 意見交換の様子はビデオ撮影し、会場に参加できない教員にも認識を深めていただけるようにする。またビデオの視聴した教員からも意見をもらい、対話集会の際の意見に含めてまとめ、公表する。

上記の説明を踏まえて以下の通り意見交換を行った。主な意見等は以下の通り。

- ・アクティブ・ラーニングは、補助金の配分基準になっているので、実施せざるを得なくなっている。
- ・アクティブ・ラーニングの事例紹介は、単なる事例の紹介だけに終わらず、教育結果がどうであったのか、その後の対応内容まで紹介し、認識を深めるべきであると考える。
- ・アクティブ・ラーニングの授業実現には、継続的な支援が必要であるが、ある程度の環境が整っていれば、それ以上の支援は必要ないなど、教育支援への理解が足りない現状がある。
- ・参加者が事前学習する動画配信については、教員が日常業務に追われており、動画を見てまで参加してこないと思われる。
- ・私情協から学長宛などを通じて、学内に周知してもらい、動画閲覧をしてもらえるように案内を工夫する。

#### 2. 対話集会における事例紹介について

委員の大学における実験やフィールドワークの現状を確認した上で、事例候補について検討した。

- ・金沢工業大学ではプロジェクト科目を 1、2 年生で実施している。学生がテーマを設定して実験を中心に行う学びとなっている(実験のアクティブ・ラーニングに該当する)。
- ・創価大学では 3 年次に実験のアクティブ・ラーニングを実施している。
- ・立正大学の生物学関連科目のフィールドワークについては、以前は基礎実験(1 年生)で実施していたが、現在はゼミ(3 年生)での実施となっている。内容は、生物系の野外調査の機器を持たせ、道具を使って計測して調べさせるというもので、データを蓄積していくことの楽しさ、調べることの意味を学ぶことをねらいとしている。
- ・下級年次にアクティブ・ラーニングで学生の興味を引き出すことが重要ではないか。

- ・単なるアクティブ・ラーニングの方法が主ではなく、アクティブ・ラーニングによる教育効果がどのようにあったのか、どのように効果を測定しているのか、見定めることができる材料が必要で、LMSなどICTツールの導入が考えられる。教員はそのようなことを知りたいと思う。
- ・対話集会では司会から趣旨として上記を説明する、あるいは、意見交換の中で確認するのがよい。教員同士でデータを共有して、きめの細かい教育が実現できる。
- ・教育工学を踏まえた効果的な授業の仕組みを視点に入れて考えたほうがよい。
- ・教育学部の教員が実施している授業内容を聞くと、早い学年からグループ学修など実施している。

以上の意見交換の結果、以下の方針により事例紹介を引き続き検討することにした。

- ① アクティブ・ラーニングの事例の候補を委員、事務局で検討しておく。
- ② 取り組み事例として、成功した結果までは求めない。
- ③ 事例紹介は2件とし、持ち時間を30分ずつとする。
- ④ 候補は、外部からは1件、委員からは金沢工業大学の例を紹介いただくとしたが、外部の候補者については、さらにメールで意見交換しながら目途をつけておくことにした。

### 3. 開催日と会場

開催日は平成26年8月28日または29日とし、時間は13:00～15:00とした。

### 4. 次回委員会

次回尾委員会は6月7日（土）10:00より開催し、対話集会について具体的にプログラムを作成することにした。